

<0歳から100歳の方まで、みんなが先生です！>

数年前に鎌倉の古い寺の庭で、このセンリヨウを見ていると、見知らぬ人から、「千両と万両、違いがわかりますか？」と聞かれました。何でも「マンリヨウが果実を下げているのに対して、センリヨウは上向きになっている」そうです。なるほど、そういうふうになっています。また、ほかにも似たような赤い実をつける植物があり、それらについては、果実の量で名前がつけられた、と教えていただきました。少ない順から、一両、十両、百両、千両、万両です。思いがけなくはじまった、ミニ観察会の思い出です。

センリヨウはセンリヨウ科センリヨウ属の常緑広葉樹で、冬に赤い実をつけます。古くは縁起のよい「仙」の字をつけ「仙蓼」と表記されていたようですが、江戸時代後期から、「千両」と表わされるようになった。といわれています。これには諸説がありますが、同じように縁起の良い木とされるヤブコウジ科のマンリヨウ（万両）との比較から「千両」と呼ばれるようになったようです。

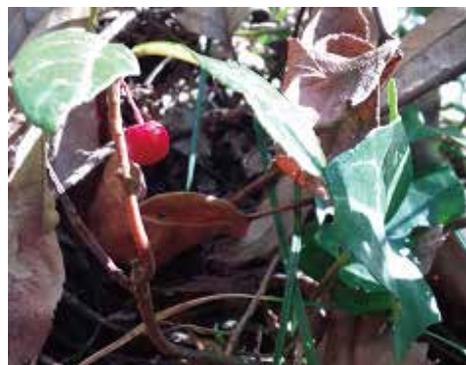


今、ふれあいの村では・・・

子供の頃にままごと遊びで使った、アカマンマを見つけました。その別名で親しんでいたもので、本名が中々出てきません。ようやく思い出した名がイヌタデです。普通茎が赤みを帯びているのが特徴です。犬がつくと役に立たない代名詞とされていますが、かつて、たくさん楽しみました。上の記事で噂の十両（ヤブコウジ）と季節外れのフユイチゴの赤い色は、風の冷たさを一瞬忘れさせてくれます。



アカマンマことイヌタデ



十両 (上)、フユイチゴ (下)

足柄自然観察会 2月5日 (日) 10:00 ~ 12:00

テーマ：冬芽の成長と葉痕
(雪の上の) 足跡さがし

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催
※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村 (南足柄市広町 1507)
指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ
所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

電話：0465-72-2010 FAX:0465-72-2013
URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>



ふれあいの村から少し下った場所の電線にハシボソガラスが止まりました。嘴には丸いものをくわえ、足にも何かをつかんでいるのが見てとれます。しばらく静止していましたが、ガーッと、ひと声鳴くと、ポトリと何かを落としどこかへ行ってしまいました。急いで落下地点まで行き、見つけたものが下の写真です。

落とし物は、何でしょうか？
5センチ位のジャガイモでした。
かじられた跡があり、少し甘い臭いがしました。雑食とは聞いていましたが、イモ類とは…。



★フィールドワーク★

自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



キツツキの仲間の巣

ふれあいの村の最寄りの大雄山駅の近くの狩川では、ダイサギをよく見かけます。その日は、いつもの場所に居ないので、周りを見渡すとやはり居ません。あきらめて歩き出した私の前方からダイサギが飛翔して近づいてきました。羽を広げて飛ぶ姿をじっくりと観察できました。我に返った時はすでに遅く、優雅さにとれてるうちに写真を撮りそこないました。無事に着地し、定位置にたたずんでいるのが下の写真です。翌日、残念がって話をする私に、「いつも観ているから」と同情の声はあがりません。南足柄では日常的な風景のようです。ふれあいの村の中では、新しそうなキツツキの仲間が開けた穴を見つけました。シュロ、コケとビニール紐まで使って緻密に作られた巣も見つかりました。村へ見にいっちゃいませんか。



木の上のものは、鳥の巣？



メジロの巣？



メジロ



ダイサギ (2月1日)



ダイサギ (2月2日)



ダイサギ (2月2日)